

活 動 内 容 報 告 書				
団 体 名			琉球大学でいご会	
活 動 報 告 月	直 近 3 か 月	2026年 5月 16日	琉球大学でいご会総会開催	
		2026年 6月	でいご会会誌を全会員へ発送	
		2026年 8月 3日	琉球大学医学部解剖体火葬式への参列	
活動風景の写真などを添付してください				
【総会 5月16日開催】 「でいご会」は、琉球大学において毎年一度、会員の皆さま同士の親睦や交流を深めるために、総会と親睦会を開催しています。 今年度の総会は、令和8年5月16日(土)に、西普天間(医学部)キャンパスで行われました。参加者は、医学生を含めて合計195名の会員の皆さまにご参加いただきました。総会は、まず会員の皆さまやご家族に、会員登録をしていることについて、改めてご認識いただく機会となります。また、総会に参加していただくことは、会員の皆さまがでいご会の活動や今後の方針について理解を深める良い機会となります。 会員の皆さまがいなければ、解剖学実習などの医学教育に重要な実習が成り立ちません。会員の協力と参加があつてこそ、これらの活動が円滑に進められるのです。総会の開催は、会員の皆さまの理解と協力を得るために非常に重要であり、会の活動を支える基盤となっています。 総会では、解剖学実習の重要性や必要性について臨床研修医の立場からの感想が共有され、総会終了後、琉球大学病院精神科神経科の高江洲教授による講演が行われました。テーマは「日常生活からできる認知症予防法」であり、講演では楽しく高齢社会を生きるために、認知症になりにくい社会、認知症になっても生きやすい社会をつくることが大事で、認知症の予防に関する理解を深めるとともに、日常生活の中で実践可能な予防策などがあげられました。会員参加者からは、講演内容の充実度と教授の臨床・教育への情熱が高く評価されました。 そのあと、でいご会会員と医学生による昼食懇談が行われました。 【広報活動・会誌送付 6月発送】 でいご会会員(約1500名)へ、機関誌「でいご」を作成し、会員へ郵送しました。 【火葬式】 参列者:御遺族様、大学関係者(教員、スタッフ)、医学生(解剖実習に携わった学生)、でいご会役員 内容:解剖体火葬式の執行 文部科学大臣からの感謝状の贈呈(贈呈者:琉球大学人体解剖学講座 木村教授) 御遺族様への感謝と追悼の意の表明 意義と目的: 医学生にとって、解剖学実習は医学教育の基盤です。火葬式は、解剖体の尊い志に感謝し、その意義を再認識する重要な機会です。火葬式に参列することで、医師としての責任と使命感を新たにし、医療人としての誓いを立てる場となっています。 寄付を賜りましたおかげさまで、でいご会の運営は円滑に進行し、これらの計画していた活動やサービスを滞りなく実施することができました。皆さまからの温かいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。これからも皆さまの期待に応えられるよう、より一層努力してまいりますので、どうぞ引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。				
コメント				

